



勝負の中にもお互いを尊重し、たたえ合う運動会

国分北小学校 校長 川野 浩明

心配された天気も、てるてる坊主を作ってくれたお友達のおかげか、無事5月26日(日)に、第55回北っ子大運動会を開催することができました。

「赤白ともに あきらめず 最後まで 心をもやせ」をスローガンに、北っ子が「一致団結」して最後まであきらめずにがんばりました。



運動会では、お互いが勝つために勝負をしますが、相手がいることで、一生懸命になれ、自分が成長できます。また、お互いを尊重し、たたえ合いながら競技を行うことで、全員が「北っ子」としての自覚が高まっています。だから、最後は、勝負に関係なく「全員で」校歌を歌います。

そのような教育効果をねらい、実施された運動会でしたが、子供たちは想像以上に仲間との絆を深めながら、この運動会を楽しんでいました。

応援団は、運動会を盛り上げるために、一生懸命取り組みました。今年は、白組が優勝しましたが、赤組も白組に負けないぐらいがんばり、多くの拍手をもらいました。



特に、6年生は小学校最後の運動会で、気合いも十分でした。5・6年生のソーラン節は、練習の時から筋肉痛になりながらがんばり、当日は、迫力のあるすばらしいパフォーマンスを見せてくれました。



他にも、1・2年生のかわいいダンスや、3・4年生の北っ子サンバなど、子供たちの見どころいっぱいの運動会になりました。

校舎改築のため、応援場所も十分ではなかったかもしれませんが、譲り合って応援してくださったり、終了後はテント撤収の協力もしていただいたりして、スムーズな運営ができたことを感謝申し上げます。また、最後になりましたが、PTA会長をはじめ、役員や各専門部、北どん会の皆様に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

今後も、「ゴーゴー!北小!」で職員一同がんばっていきます。